

1月の政治・経済イベント

重要 01 米中貿易合意の内容の確認

米中貿易協議は第一段階に至ったとして、両国は12月15日に予定していた追加関税措置の発動を見送りました。ただ、中国の米国産農産物等の輸入増大に関して、米国側は具体的な金額に言及しているのに対し、中国側はあいまいな態度を示しています。2020年1月中にも合意文書の調印が行なわれるとされていますが、合意の内容を確認し、その経済的影響を判断する必要があります。

重要 02 中国の景気動向と政策対応

中国では企業景況感の指標などに改善の兆しが見えますが、実際に景気が持ち直しつつあるのかは、まだよくわからない状況です。1月に発表される12月分の貿易統計、鉱工業生産指数、固定資産投資、10-12月期のGDP（国内総生産）などの主要経済指標の動向を確認することが必要です。また、景気動向や米中貿易合意を受けて、中国政府が景気対策の強化を図るのが注目されます。

重要 03 世界経済・貿易の展望

1月中旬にIMF（国際通貨基金）が世界経済見通しのアップデートを発表する予定です。2020年の世界GDP成長率や貿易数量などが、10月時点の前の見通しからどのように修正されるかが注目点となります。また、1月21～24日に開催される世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）では、持続可能な世界をテーマに世界の政治・経済のリーダーが議論を行ないます。環境負荷の軽減と経済成長の両立の模索など、世界経済に対する長期的な指針が注目されます。

1月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
3日(金)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数（12月）
10日(金)	米国 	雇用統計（12月）
中旬	グローバル	IMF（国際通貨基金）世界経済見通し発表
20日頃	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（12月）、10-12月期GDP
21～24日	グローバル	世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）
29日(水)	米国 	金融政策発表
30日(木)	米国 	10-12月期GDP（速報）
31日(金)	日本 	鉱工業生産指数、小売売上高、失業率、有効求人倍率、新設住宅着工件数（12月）
31日(金)	ユーロ圏 	10-12月期GDP（速報）
31日(金)	英国 	EU（欧州連合）離脱期日（予定）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。